

あいさつ（第63回野口杯より）

山梨県卓球協会
会長 植松 克之

第63回野口杯争奪卓球大会兼平成20年度山梨県卓球選手権大会開催にあたり山梨県卓球協会を代表しまして、一言ごあいさつ申し上げます。

平素は、本協会事業運営のために、深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。お陰さまで、皆様のご努力により、登録人数も順調に増加し、国民体育大会・全国オープン温泉卓球大会、県内の多くの大会も成功裡のうちに終了することが出来ました。ありがとうございました。

また、日頃、各クラブチーム・中体連・高体連の指導者の方々には、普及・選手強化両面にわたりご指導賜り、誠にありがとうございます。

昭和2年に発足した山梨県卓球協会の初代会長であり、山梨県卓球競技の育成発展のためにご尽力賜りました故野口二郎山梨県日日新聞社・山梨放送会長にちなんで名付けられたこの大会は、まさに本年度の山梨県一を決定する最高の大会であります。

この大会は、初代チャンピオンの古谷 馨氏をはじめ史上最多の5回の優勝を誇る三沢満仁選手、札幌インターハイチャンピオンであり、その年の全日本卓球選手権大会シングルスにおいて見事準優勝、40回・41回優勝者である村松由希子選手等、数々の名選手・好選手を輩出しました。

近年、卓球が生運スポーツとして高く評価されており、その中心的役割を担うラージボール卓球も第55回大会から導入され、益々活況を呈してまいりました。

参加される選手の皆さんはスポーツマンシップに則り、日頃鍛えた心・技・体・知を十二分に発揮し、充実した見応えのあるプレーを展開し、選手自身が納得のできる試合をされると共に観戦・応援される皆さんが、フェアプレー・ファインプレーの応酬する、卓球の醍醐味を味わうことのできる試合を期待してやみません。

選手同志の交流の場としても、心地よい汗をかきながら、その輪を広げていただけたら幸いです。

終わりに大会開催にあたり、ご理解・ご協力いただきました、山梨日日新聞社山梨放送に感謝申し上げるとともに、後援・協賛いただきました関係各位に深甚なる謝意を表し、山梨県卓球協会の新たな飛躍を祈念し、ごあいさつといたします。